



躍動

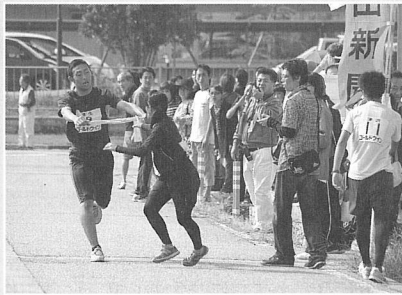
第 44 号

平成27年 1月 1日発行

発行所
(公財)小矢部市体育協会

〒932-0052
小矢部市泉町 2 番32号
小矢部市立屋内スポーツセンター内
TEL・FAX 0766-68-1525

第31回小矢部市駅伝競走大会 水島 連続 V



第31回全国ビーチボール競技大会 全国制覇



優勝 鷹BBC NAUGHTY (ノーティ)
日時 平成26年 9月13日(土)、9月14日(日)
場所 朝日町文化体育センター サンリーナ他



会長 山本 隆夫



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

当協会は常に、スポーツを通じて市民の健康増進と体力向上をはかり、健康で明るい小矢部市民の育成に寄与することを使命と考えて活動を続けております。ルールを守り、目標へ向かってベストを尽くし、感謝の心を備えたスポーツ愛好者で溢れる、活力ある小矢部市でありたいと考えます。

また、公益財団法人へ移行して三期目を迎えて、より透明性を高め周囲の信頼感を損なわない協会運営を心がけております。

本年度事業計画に基づいたスポーツ普及振興事業も予定通り実施され、施設管理運営事業においても、指定管理者として各施設の適切な管理に努めております。

県民体育大会の総合成績や県駅伝競走大会では、残念ながら当市は近年下位に低迷しております。人口の少ない市という現実には甘えることなく、少しでも上位を目指す気力と手法が必要と判断します。当協会では競技力向上委員会を組織して議論を深めつつありますが、今後に向けて各競技団体や教育関係者とも連携をはかりながら、継続した取り組みに注力したいと考えております。

体協活動に対する変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます、併せて市民の皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶と致します。

柔道全国大会出場 津沢柔道スポーツ少年団

○学年別柔道大会

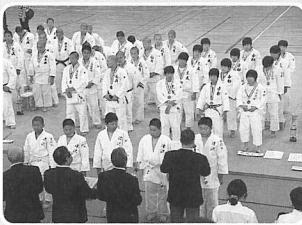
この大会は個人戦の全国大会でした。いつもの団体戦の仲間がおらず、少し違った雰囲気での試合という事もあり、とても緊張しました。全力を出し切ることができたのですが、よい成績をあげられなかったのがとても悔しかったです。もっと練習して強くなりたいと思います。



○マルちゃん杯

中部地区予選を勝ち抜き、二年連続でマルちゃん杯全国少年柔道大会に出場することができました。これも日頃の練習の指導やお世話をしていただいた監督や保護者会のおかげだと思えます。

全国では思うような結果を出せませんでした。皆さんの気持ちに伝えられる選手となるよう毎日の練習や生活を頑張りたいと思います。



先進地体育施設視察

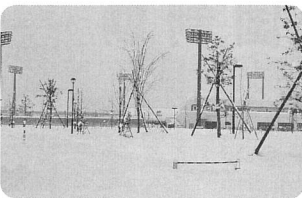
12月7日(日) 体育協会理事・専門部委員・事務局職員が先進地体育施設見学研修会として高岡西部総合公園(西高岡)及び(公財)氷見市体育協会を訪問しました。

あいにくの大雪に見舞われ、高岡西部総合公園野球場は現地に入らず、進入路入口で高岡市体育保健課の2名の方から説明をうけました。野球場は両翼100メートル、中堅122メートルで収容人員は内外野含め約10,000人。特徴の一つとして屋内練習場があり、会議室も十分用意したとのことでした。また公園周囲には1.2kmのジョギングコースを設置し、健康体力作りを目指しているとのことでした。

(公財)氷見市体育協会は氷見市ふれあいスポーツセンター、氷見市民プールの指定管理を受けております。収益事業としてスポーツ教室を開催したり、自動販売機の手数料などの収益で順調に運営されているようです。また市からの選手強化費を含めて、県体成績により傾斜配分を行い、各競技団体に競技力向上を促しているとのことでした。

また、氷見市体育協会には競技団体29、関係団体3、計32団体が加盟していますが、地区体協というのはなく各地区にはプラザという形の団体があり、それぞれ連携をしながら活動をしているとのことでした。小矢部市もいいところを見習って頑張っていきたいと思いました。

高岡西部総合公園野球場



氷見市ふれあいスポーツセンター

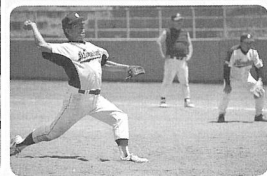
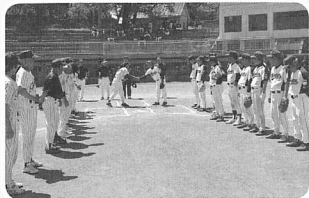
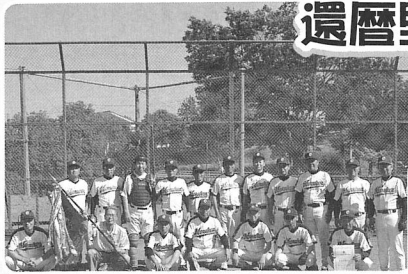


還暦野球 全国大会優勝なる!

私たちは、平成21年にチーム名を「小矢部メルヘンスタース」として、会員20名で生涯野球チームを結成しました。翌22年に小矢部市の活性化に寄与することを目的に「小矢部メルヘン義仲クラブ」と改名し、市のPR活動と木曾義仲を題材にしたNHK大河ドラマ化の実現に向け様々な活動を行ってきました。

今年、長野県上田市で行われた「全日本生涯野球大会」(参加人数約4,000人)に参加し、プレイの傍ら、球場前で署名活動を行ってきました。20チームによる変則リーグ戦の中で、参加5年目にして、初めて優勝旗を持ち帰ることが出来ました。今後、大河ドラマ実現まで、毎年参加し、署名活動を行っていききたいと思います。

また、平成23年より「義仲・巴杯争奪生涯野球富山・石川親善交流大会」を主催し、石川県の皆様にも



署名活動に協力していただきます。現在の会員数は38名ですが、さらに盛り上げるためにも賛同する方を募っています。

リーダー研修会

テーピングとAED

各体協加盟団体の指導者・監督・コーチ等を対象に小矢部市武道館1階柔道場で高岡市民病院リハビリテーション科理学療法士高畑芳信氏により「指導者のためのテーピング術」について講義と実技講習を受けました。引き続き砺波地域消防組合小矢部消防署米道、荒木、長田計3名の救急救命士から「AEDの取り扱い方」を3グループに分けての実技指導を受けました。受講者から「捻挫の既往のある人は、テーピングを予めした方が良いか?」などの質問があり関心の高さが伺えました。



スポーツ普及事業

(陸上競技教室)



YU-KOと走ろう

マスターズ4000mアジア記録保持者の黒川由子氏を迎え、小学生以上で陸上競技の指導又は関心をもっている方に対し、初心者のための走り方、基本的な走り方、長距離走、日常の留意点等について講習、実技指導が行われました。参加者は熱心に聞き入り、少し寒い時ではありましたが汗をかきました。

(ゲートボール教室)

今回の教室は、競技者から『小矢部市ゲートボール協会に入会する場合は3級審判資格講習受講が義務付けられているが、いざ実践になると全員が審判できない』と意見が出たため、審判養成の実技講習会を開く事となったもので、講師は日本ゲートボール連合認定1級審判員の鷲長二氏が実施しました。各地区から多数が参加され、実践を伴った内容でもあり、いろんな質問にもわかりやすく説明されていたのが印象的でした。



ジュニアユース (U16) ホッケー日本代表チーム
オーストラリア遠征 F-H-Eカップ

U16男女アベック優勝

(2014年11月27日～30日)



12月8日市長、議長に報告しました。



男子 4勝2引き分け
女子 4勝1敗

優秀選手

高島 瑠唯

(蟹谷中学校3年)

ユース (U18) ホッケー日本代表
国際交流試合

・ゴールドコースト
チャレンジ

12月16日～19日(女子)

12月7日～12日(男子)

於：オーストラリア
ゴールドコースト

・日韓交流試合

11月18日～21日

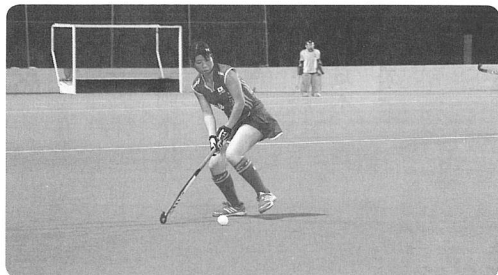
於：山梨学院ホッケー
スタジアム



ゴールドコーストチャレンジに出場して

石動高校 3年 荒田沙亜耶

私は今回、海外遠征に参加し、世界のプレーを
見たり感じたりしました。日本人は小柄なため不利な
ので、技で勝負できるよう、個人技をもっと磨かな
ければならないと思いました。この経験を今後
に活かせるようにこれからも練習に励みたいです。
このような経験をさせていただいたこと、支
援していただいた方に感謝したいです。



石動高校 3年 後本わかな

私は、U-18日本代表に選出され念願が叶い、
うれしく思っています。試合では、外国人のリー
チの長さで思うようなプレーができませんが、ど
のような状況でも最後まであきらめず粘り強く
頑張りました。FWとして得点を取り、日本の勝
利に貢献できる選手に成長したいです。



オーストラリア遠征に参加して

石動高校 2年 加藤凌聖

私は、オーストラリア遠征に参加して、多くの
ことを学びました。外国人選手は、日本選手と
違いストロークが強く、リーチも長く戸惑いま
した。この遠征を通じて、自分の足りない点や
通用するプレーを知ることができ、よい経験に
なりました。今後は、もっとしっかり練習し、
世界に通用するプレーができるように頑張
ります。

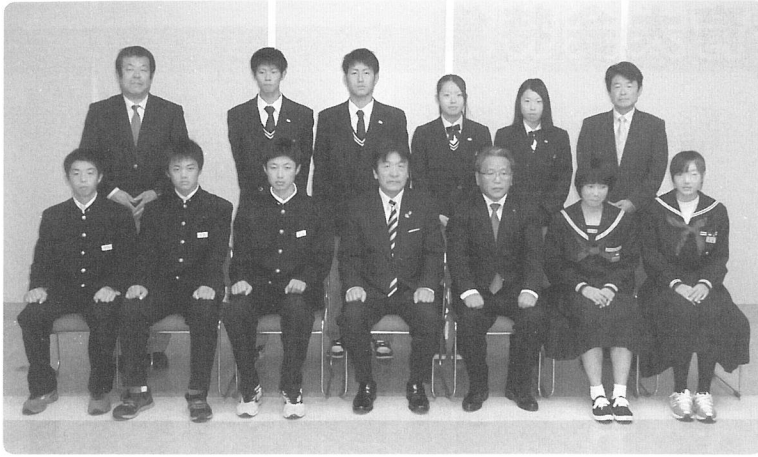


日韓交流試合に参加して

石動高校 2年 浦下 陸

私は、日韓交流戦に参加し、初めて外国の選
手と試合をして、たくさんことを学びました。
体格、力強さ、テクニックの差を感じました。
チームのみんなと、コミュニケーションをとる
大切さを学びました。この六日間で得た貴重
な経験をこれから生かし、来年も日本代表と
して頑張ります。応援よろしくお願
いします。





U16、U18 国際大会激励壮行会

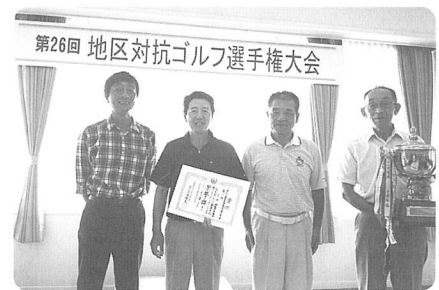
ホッケーの各年代日本代表や国際交流事業に参加する小矢部市の選手らへの激励壮行会が小矢部市役所で開催されました。

ジュニアユース（U16）の日本代表としてオーストラリア遠征に参加する5選手と、ユース（U18）の日本代表としてオーストラリア遠征と日韓交流事業に参加する監督・コーチ・選手を桜井市長、石田議長が激励しました。

第26回地区体協対抗ゴルフ選手権大会

平成26年9月21日(日) ゴルフ倶楽部ゴールドウイン

順位	地区名	選手名			
		グロスの部		ペリアの部	
1	南谷	吉野秀一	津田俊一	片田義文	津田明志
2	荒川	山本修三	居島秀夫	高橋久雄	丹羽久克
3	若林	佐野博文	中西正美	田屋博吉	佐野行浩
4	東蟹谷	柴田正一	中島好晴	宮浦譲二	西永勉
5	北部	赤野周右	嶺田和之	稗田等	川越康宏
6	南部	本多直樹	舟本孝夫	大家良孝	島田久三



地区体協対抗ニュースポーツ大会2014

平成26年12月14日(日) 小矢部市武道館 優勝は津沢地区体育協会

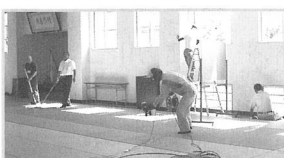
カローリング競技が開催され、地区体協代表160余名が参加し熱戦を繰り広げました。

順位	地区名	選手					
		宮田新三	松井昌二	安川孝志	津島俊明	酒井雅人	西尾真弥
1	津沢	西尾紗弥	西尾大助	藤井正志	松村明		
2	子撫	額谷昌志	開田慎	居林幸	高瀬美保	奥野英夫	開田未晴
		澤田しおり	居林大星				
3	北部	垣田俊彦	松野晃	羽広和矢	水野智	水野遥菜	松野伊織
4	荒川	山田隆行	山田一彦	岩井佐緒里	吉倉真一	藤村利彦	山田航我
		藤村凌雅	山田隆行	高橋信次			
5	南部	石尾昌也	村田博典	新谷健悟	村田端留美	柴田あつし	村田天輝
6	東蟹谷	松永竜平	西村正明	中嶋千秋	畑栄敏	松永竜威	中嶋七海
		西村優香					



優勝チームコメント

津沢地区体協監督 宮田新三
10月に津沢地区でカローリング大会を行ったのが今回の好成績につながったと思います。



今年6月14日(土)、小矢部市武道館の普段は手が回らない箇所を中心に行いました。正面石碑周辺の草取りも行い、すっきりした武道館になりました。

尚、清掃に先立ち世界中で患者数が急増しており日本でも感染者が報告されている新型水虫のトリコフィトン・トングランズ菌に対する除菌水を紹介し、実際に柔道場の畳に散布を行いました。

清掃奉仕活動

県民体育大会特集

ビーチボール競技
鷹BBC NAUGHTY
(ノーティ)

男女アベック優勝
Aクラス18歳以上 男子
結成6年目にして公式戦初優勝することが出来て嬉しいです。
Aクラス18歳以上 女子
今年で3連覇!!
4連覇目指して頑張ります。



県体連覇

県体二部サッカー競技は、7月13日、27日、日医工スポーツアカデミー(滑川市)の人工芝グラウンドにおいて、ナイター照明のもと開催されました。本年は、FCフォルテが中心になり、市内の他のチームが応援選手を出す形で大会に臨みました。決勝戦は、優勢に試合を進めながらもなかなか得点できず、心配しながら応援していたところですが、後半に得点してそのまま逃げ切り、昨年に続き優勝することができました。



社会人チームは、活動の中心になるリーグ戦が後半を迎える中での県民体育大会になるため、選手のコンディション維持が難しい時期になります。その中での大会二連覇は価値のあるものと考えています。協会としても、次年度以降も良い成績が収められるよう選手とともに頑張っています。

来年こそはW優勝を!

来年こそはW優勝を!

ねこまんま 小矢部市ビーチボール協会
水見市のふれあいスポーツセンターで行われたビーチボール競技。空調の風との戦いも強いられたい大会となり、苦戦が続きました。今回こそはと狙っていたW優勝。結果、Cクラスがあと一步のところで惜敗。



来年こそはとクラブチーム一丸となり、楽しみながら練習をしています。

笑顔の優勝

ソフトテニス小矢部市選抜チーム
湯浅玲奈

私たち三年生にとってはこれが中学校生活最後の大会。集大成として優勝という結果で終われたことを本当にうれしく思います。

コートでは一人一人が「チームのため」に自分のできることを一生懸命取り組みました。今まで泣いた分だけ笑顔になれたと思います。お世話になった全ての方々に感謝でいっぱいです。本当にありがとうございます。



柔道小矢部市選抜チーム

(監督) 米澤 忍

主将 清水 孔亮

決勝戦に行くまで危ない試合がありました。チームのみんなが自分の役割を精一杯果たしてくれて決勝戦に行くことが出来ました。決勝戦では自分達の力が及ばず負けてしまい準優勝という結果に終わりました。来年は後輩が頑張るので応援よろしくをお願いします。



加盟団体紹介

いつでも、どこでも、だれでも

小矢部市
メルヘン・グラウンドゴルフ協会
西川 康夫

当協会は、健康増進と健全な体育活動の伸展並びに会員相互の親睦を図ることを目的として、平成20年に58名で発足し、翌21年市体育協会に加入いたしました。本26年度は男女合わせて130名の会員となり、毎週火、土曜日は小矢部川河川公園の水辺の楽校で、木曜日は岩尾滝グラウンドで、冬季は、屋内スポーツセンターで楽しく練習するとともに、月例会や親睦大会を開催して日頃の練習成果を競っています。一方県協会の各種大会や市内外の交流大会にも出場し仲間との輪を広げています。グラウンドゴルフは、ゴルフをアレンジしたスポーツで「いつでも、どこでも、だれでも」をスローガンに子供から高齢者まで幅広く愛され全国で約300万人の愛好者に親しまれている軽スポーツであります。多くの皆様の参加をお待ちしております。



第31回 小矢部市駅伝競走大会

水島体協2連覇(通算5度目)

10月12日(日)快晴の晩秋メルヘン路をパトカーの先導で開始されました。レースは1区から荒川、埴生、水島でめまぐるしい順位争いをおこない、中盤4区、5区では津沢がトップに立つ。後半7区で水島がトップに立ちそのままゴール。2年連続通算5度目の優勝を飾った。3位だった津沢が最終区で松沢を逆転し2位となった。

個人においては、第8区で杉森さん(東部)が区間新記録を、2区では白井君(松沢)が5人抜きを演じるなど目まぐるしい展開も見られた。ただ残念なのは1地区が不参加、1地区が二部参加となり選手集めの苦労が感じられた。また閉会式では小矢部市吹奏楽団のミニコンサートや式典演奏など協力して頂いたことに感謝申し上げます。

区間1位選手のコメント

■第1区間 荒川 河邊 皓星

2年連続で1区を走らせていただきました。昨年は5位だったので今年こそは1位を取りたいと思って臨みました。何度苦しくて止まってしまいましたと思いましたが地域の方々の応援のおかげで最後まで走りきることができました。区間賞をとることができてとても嬉しかったです。

■第2区間 松沢 白井友 梧

始めて2区を走らせていただきました。今回は、昨年の1区と違って前に選手がいたので、その選手に追いつこうと思っ

て走りました。沿道でたくさん声をかけていただいたおかげで楽しんで完走することができました。応援ありがとうございました。

■第3区間 津沢 竹端 万結

前年度に続き区間賞をとることができてとても嬉しいです。今年も楽しく走ることができたのは、応援して下さったみなさんのおかげなので感謝したいです。

■第4区間 東部 小谷 朱音

初めての区間で1キロという短い距離でしたが、思い切つて楽しく走ることができました。順位を一つでも上げれるように一生懸命走りました。沿道のみなさんの応援がとても心強かったです。ありがとうございました。

■第5区間 水島 沼田 玲温

僕は、初めて選手として大会で走り、区間賞をとることができ、嬉しく思います。順位を上げようと必死に走りました。辛かった時沿道の声援のお蔭で最後までねばり強く走りきることができました。

■第6区間 松沢 西川 絢

私は3位でタスキをもらいました。次の人に良い順位で渡すことができたのでうれしかったです。また、沿道の方々の応援があったから良い順位で渡せたんだと思います。ありがとうございました。

■第7区間 水島 沼田 涼平

僕は第7区間を走らせていただきました。

た。地域の方々にたくさん応援していただいたおかげで思いきり走ることができました。チームのみんなや役員の方々、そして監督にはとても感謝しています。

■第8区間 東部 杉森 亜莉沙

スタートの時点で前に人が見えていたのもあり、最初から思いきり走り出すことが出来ました。今までよりもたすきが回ってくる順位も高く、上位でゴールが出来るようチームのために頑張ることが出来たと思います。

■第9区間 若林 宮田 響

僕は、今年初めて9区という大事な役になり、緊張もしてる中走りました。思っていたよりリラックスして自分のペースで走ることができ、とても楽しかったです。応援してくださった地域の方々、チームのみんな、家族のおかげで走ることが出来ました。



区間1位に輝く皆さん

優勝監督のコメント

水島体育協会監督 林 敬崇

やりました！昨年に引き続き、今年も優勝することができました。大変うれしく思います。

これも選手の頑張り、リザーブのサポート、地域の皆さんの応援、地区体協のバックアップ、すべてがあつてこそだと思います。感謝申し上げます。

今回の大会に際しては、周りの期待が大きいいことから、「プレッシャー」とならないように、選手には最初から最後まで「楽しく」をモットーに臨んできました。自分の力を出し切れれば、結果は後から付いてくると選手を送り出した通り、「優勝」という素晴らしい結果が付いてきました。次回大会も無欲で臨みたいと思います。

最後に改めて、地域や沿道の皆さんの声援に感謝申し上げます。

第31回 小矢部市駅伝競走大会

総合順位

平成26年10月12日(日)

順位	地区名	記録
1位	水島	1時間22分42秒
2位	津沢	1時間23分16秒
3位	松沢	1時間23分17秒
4位	埴生	1時間24分30秒
5位	若林	1時間26分09秒
6位	荒川	1時間26分54秒

第32回 富山県駅伝競走大会

☆総合順位☆

順位	郡市名	記録
1位	富山	2時間12分25秒
2位	砺波	2時間16分32秒
3位	魚津	2時間16分56秒
4位	高岡	2時間18分11秒
5位	中新川	2時間19分53秒
6位	射水	2時間20分09秒
7位	氷見	2時間20分15秒
8位	下新川	2時間21分30秒
9位	南砺	2時間21分39秒
10位	滑川	2時間21分39秒
11位	黒部	2時間24分59秒
12位	小矢部	2時間29分28秒

☆区間賞 おめでとうございます☆



15区2位
堀内祐希さん



9区3位
杉森亜莉沙さん



当日は秋雨の中、小矢部市選抜チームは最後まで力走し沿道の温かい声援を受けながら12位という結果ながらタスキに掛けた思いは感慨深いものがあった。
特に今回は高速レースとなり、今後の選手育成に大きな課題が提起されたものと思う。

第32回富山県駅伝競走大会は11月9日(日)富山県庁前をスタート・ゴール地点とし、読売新聞北陸支社(高岡市)で折り返す42・5km18区間で争われた。

富山県小学生駅伝競走大会



☆総合順位☆

順位	郡市名	記録
1位	富山	28分55秒
2位	高岡	29分29秒
3位	魚津	29分35秒
4位	砺波	30分31秒
5位	黒部	30分53秒
6位	南砺	30分54秒
7位	小矢部	31分21秒
8位	下新川	31分22秒
9位	中新川	31分26秒
10位	滑川	31分41秒
11位	射水	31分45秒
12位	氷見	33分09秒



一生懸命
私は、去年も出場しました。去年は4区で今年は2区だったので去年より緊張しました。速そうな選手がたくさんいました。でも、1区の選手ががんばって走っていたので、私もそれを見て思い切り一生懸命に走る事が出来ました。これからも陸上だけでなく、いろいろな事に一生懸命に挑戦していきたいと思っています。

富山県小学生駅伝を振り返って
小学生駅伝小矢部市選手団 監督 坂本 吾郎
今年は、100m20秒ペースを自分の身体で覚えられるように、徹底的に200m〜1000mのペース走を練習しました。その結果、全員が100m18秒〜23秒のペースで走れるようになりました。
大会では、14人全員のがんばりで入賞まであと一步の7位になりました。能力の高い5年生も数名いるので、来年の初入賞に希望もてる結果だったと思います。ご協力・応援していただいた全ての皆様、どうもありがとうございました。

編集後記



昨年も、スポーツ少年団や中高生、各種競技団体、地区体協の活躍が展開されました。その中のほんの一部ですが、この『躍動』によって市民のみなさまに報告できました事をうれしく思います。またスポーツに取り組む小中高生にとっては、大きな励みとなっており、将来県体、国体、オリンピックで活躍出来る選手が生まれてくる事を願っています。